

# リスクマネジメントの今を知る!!

一般財団法人 リスクマネジメント協会年次大会 (東京) レポート  
～研究発表会編～

3月28日に開催された年次大会(東京)では、RIMS 理事長の特別講習や全体講演だけでなくリスクマネジメント協会会員による研究発表会も行われました。

会場をABCの3つの部屋に分け、計8グループが持ち時間30分のなかで、1年間の研究成果を多くの来場者の前でプレゼンテーションしました。

Room AとBは企業や組織、産業等に関するリスクマネジメントについて問題意識を持つグループの発表です。テーマは様々ですが、どのグループも今日的テーマを上手に盛り込んだ研究発表でした。

各グループ名とテーマは以下の通りです。

## ◆ Room A 東京企業リスク研究会



Room A の発表

- ・リスクマネジメント・イニシアティブグループ  
「業績向上のためのリスクマネジメント～TPPはリスクかチャンスか～」
- ・ISO3100 研究グループ  
「リスクマネジメント国際規格ISO31000の学び方～2020年東京五輪のリスクを考える～」
- ・BCP グループ  
「実効性のあるBCP構築のための実践的な手法と適用事例(その2)～東日本大震災以降の関連基準の動向と経営的視点からの考察～」

## ◆ Room B 東京企業リスク研究会

- ・エネルギーリスクグループ  
「電力依存からトータルエネルギーへ～エネルギーの真の地産地消が産業創出・限界集落再生をもたらす～」
- ・想定外とリスク研究グループ  
「想定外とリスク(マネジメント)」
- ・ERM 研究 少子高齢化グループ  
「少子高齢化社会のリスクマネジメント～老若男女が共に幸せを感じる社会の構築～」

Room Cは、メディカルリスク研究会の発表で、今回は2グループが介護に関するテーマを発表しました。それぞれ地域包括ケアシステムと介護現場のクレーム分析というテーマで、現場で実務に就かれている方にとって、知識や考え方を深める必要のある大事なテーマに取り組みられました。

## ◆ Room C 東京メディカルリスク研究会

- ・メディカルグループ  
「地域包括ケアシステムに向けて～医療と介護のパラダイムシフト～」
- ・介護現場のクレーム研究グループ  
「介護現場のクレーム分析～クレーム変化の背景にあるもの～」



Room C の発表

### 青木正人氏の講演

Room Cでは、株式会社ウエルビー代表 青木正人氏による「地域包括ケア元年 顕在化する介護経営のリスク」の講演が行われました。

青木氏は、東京都福祉サービス第三者評価者研修講師ならびに評価者・介護サービス情報公表調査指導者等を歴任し、自治体や民間への介護福祉に係わる計画や経営の指導を行うスペシャリストです。この日も青木氏の講演を目当てに参加された方が多数おりました。



講演する青木正人氏

講演では、これからの地域包括ケアの時代は、住民・自治体・事業者だけでなくシステムや市場にもイノベーションが必要であり、そのなかで介護事業者は、マネジメント力を強め、収益力を上げていかなくてはならない、と述べられました。青木氏への質問は質疑応答だけでは足りず、講演終了後にも青木氏の回りには質問する人、名刺交換をする人等々、多くの人に囲まれていました。

### むすび

その後に行われた交流会では研究発表会の表彰があり、東京企業リスク研究会のリスクマネジメント・イニシアティブグループが理事長賞を受賞されました。

リスクマネジメント協会にはご自身の問題意識を更に探求することのできる研究会があります。同じグループの仲間との結びつきや、研究過程で出会った方々、企業等とのネットワーク、そして研究成果が論文として残ることも嬉しいことの一つでしょう。

リスクマネジメント協会では様々なフィールドが用意されています。受験に合格し入会された暁にはぜひとも研究会に入ってみては如何でしょう。